

平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（平成 31 年 4 月）会議録概要

日 時：平成 31 年 4 月 19 日（金）午後 6 時～8 時 30 分

出 席：大橋 加藤 進藤 小笠原 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：広瀬 長谷川

1. 開会のあいさつ

大橋： 新年度 1 回目の運営協議会。事務局は係長が変わった。資料の確認をしながら 31 年度の事業計画案へ入りたい。

2. 平成 31 年度西砂学習館職員体制について

石川： 前任の二橋が品質管理課へ異動。私はスポーツ振興課から配属。職員の清水、市民嘱託の俣本は異動無し。

3. 平成 31 年度地域活性化講座について

① 事業計画案について

石川： 資料 2 参照。「パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾〈第 2 弾〉」は昨年同様進めていきたい。「地元を学ぼう！」、「ようこそ！西砂へ」は意見を伺いたい。「西砂産業まつり」は難しいのではと聞いている。「西砂川での災害を考える〈第 4 弾〉被災時クッキング」、「認知症予防講座」、学習館まつりのパネル出展も検討したい。

大橋： 3 月の会議で二橋係長からお話があった。「産業まつり」は良い題材だが、長いスペースで考える取り組みではと思う。人を集める部分では良いアイデア。新しい住民の地域デビュー「パパ・ママの西砂デビュー」は「にしすな夜間塾」とドッキングし、今年は 2 回開催予定。「認知症予防講座」は包括支援センターへ依頼できるとのこと。

「西砂川での災害を考える〈第 4 弾〉」はクッキングで良いか。高齢者対象のところは広瀬さんからもお話があった。地域再発見で参加可能な内容で今後企画していくか。

加藤： 企画運営委員会で「サマーイベント」と「にしすな夜間塾」について良いことをやっているセンター長からいつも話がでている。

大橋： 後押しをしていただけるとありがたい。「にしすな夜間塾」は金曜日夜の希望が多かった。早目に児童館と連携をとり日程を決めたい。

② 「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～」について

石川： チラシ参照。日程について。松中小と西砂小の夏休みがずれている。松中小は 8 月 1 日～8 月 31 日、西砂小は 7 月 20 日～8 月 26 日。会長と検討し実施曜日は火曜日の

ままで、1回目の7月30日と5回目の8月27日の内容を同じにする。ランチの食材は昨年同様寄付を依頼。

大橋：食事は小林さんをお願いしている。青少健の総会でサマーイベントの宣伝をする。子どもの為に寄付で賄っていることを広くPRすることが大事。お料理サポーターは7中生徒に料理作りのボランティアとして参加して貰いたい。7中にはお願いに行く。

4. 報告及び連絡事項

① 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局まで。

② 西砂学習館まつりでのパネル出展について

大橋：資料参照。パネル内容は皆さんに練って頂き、私が作成する。何を知らせたら良いか。地運協で地域の実態、要請を受けて講座をしているということを知ってほしい。地運協の取り組みを写真を使い紹介できたら良い。1番伝えたい点は3枚目下「ここにアクセス!」。どこに連絡すれば良いかが分かればと思った。西武立川の掲示版にキャッチフレーズが掲示できたら良い。

森：「ようこそ!西砂へ」は入れたらわかりやすい。

岩元：「ようこそ!西砂・一番へ」が良い。西砂学習館がメインになり天王橋会館と西砂会館の両方を統合して地域活動の情報提供できたら良い。

大橋：ウェブサイトみんなの西砂川には載っている。

岩元：ネットの情報が紙媒体で西砂学習館にもあると良い。

石川：学習館は地域の学び、地域の中心にならなければと言われていた。学習館がメインとなり、情報を発信し繋げることが大切と二橋から引き継ぎで聞いた。

増田：地域情報の統括を学習館で行うのは、現状では、人的に難しいと感じるが各会館のイベント情報等を告知できる方法を講じることは大事だと思う。

森：「地運協はあなたの地域参加をお手伝い」。地運協はきっかけ作りを提案できますよという組織だと思う。これだったら地域活動に参加できそうというきっかけになるようなパネルになれば良い。

加藤：幸の地運協ではメンバーの写真を載せて紹介している。

大橋：初めての取り組みなのでまずはやって次年度に繋げていきたい。

岩元：学習館はサークルの人が使う場所というだけではない事をもっとお知らせしていきたい。

③ 「学社一体」へ向けた取り組みにおける地域学習館のあり方について

大橋：西砂小では校長先生と副校長先生が変わったがコーディネーターへ学校の考えを伝えられているのか。

森：次回の会議までに学校とコミュニケーションがとれるか。時期早々なら延期するか。
石川：課長含めた係長会議で全地運協でコーディネーターにお声がけするようにとセンター長から指示がでた。
岩元：コミュニティスクールができるが、コーディネーターとはどうなのか。
大橋：コミュニティスクールのメンバーは学校運営に対して意見をしながら承認をする。
増田：有機的な繋がりづくりが大事。
大橋：生涯学習係長から主旨の説明を頂けるのか。答申を読み込んで地運協としてどう関わられるのか。西砂小の校長先生と副校長先生が変わってしまったので心配をしていた。松中小と西砂小も一緒に来ていただけるかもしれないとのこと。
小笠原：松中小のコーディネータの方で児童館によく来て下さる方がいる。こちらからお話をしといたほうが良いのか。
石川：生涯学習推進センターから連絡がいく。

④ フリースペースについて（報告）

小林：4月6日は鶏のから揚げを作った。小学1年生が多くて神経を使った。次回は4月20日餃子とチャーハンを予定。楽しく活動している。
大橋：フリースペースは中学生の引きこもりの子どもを家庭から出そうと始まった活動。何年か続けて活動場所が児童館へ変わった。費用は全て児童館。地運協の活動でもあるの毎回報告をして頂いている。

⑤ 各委員から報告及び連絡事項

加藤：実施計画書参照。交流クッキングを西砂学習館でやることになった。講師は一番町在住の那須さん。西砂地運協の協力でやらせて頂けたらと思う。謝礼は推進委員会が負担。
小笠原：那須さんは東大和市の家庭科の先生。食育に興味を持たれている方。子育てひろばでも講師をお願いしたことがある。お子さんが学童に通っていたので良く知っている。
進藤：社協では今年度も学習館や児童館、地元の団体と協働しながら色々進めたい。WestWaveさんからはお母さん目線の防災企画のお話を頂いているところ。
小笠原：3月29日地域交流会実施。色々なお話を伺うことができ参考になった。新1年生は39名で男の子の割合が多い。5月5日にしちルフェスを予定。子ども向けの企画で柏餅を作る。10連休の学童は全面閉所。児童館は職員体制が整う日は開館となった。5月7日からは通常通り。5月18日お楽しみ会を予定。
大橋：柏の葉が手に入るところがあると良い。柏の葉を摘んで子どもに見せるのが大事。
森：西砂パソコンクラブではエクセル講座をやっている。4月23日～25日柴崎学習館でワードの講座を予定。

増田：「たちかわ・財政を考える会」の年度計画が概ねできた。助成金を頂く交渉中。

立川市内中学2年生対象に財政の正課授業を、外部団体と協働して教育委員会を通じて実現していく方策をとらせてもらう。

岩元：文化会は4月20日総会を予定。5月6日お茶づくり。5月18日青少健の総会。

小林：5月18日お楽しみ会。民生員とのコラボでお団子を作る。9時集合。

5. その他

※次回開催；次回は、5月16日（木）午後6時～ 西砂学習館